

## 平成22年度 第6回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成22年9月17日（金） 午後3時00分～午後4時25分

場 所：企業局会議室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，  
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，中央病院看護局長  
三好病院看護局長，各県立病院事務局長 ほか

### (1) 平成22年度決算見込み（7月末）について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成22年度の決算見込みについて示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**県立病院事業として「不良債務」を，再び生じさないことが重要である。そのためには，常に，「内部留保資金がいくらあるのか」を，しっかりと意識してほしい。

平成22年度決算見込みの内部留保資金は，前年度比約7億円増の約21億円ではある。しかし，これは他会計借入金約31億円を入れての数字であり，実質内部留保資金はマイナス約10億円である。他会計借入金なしに内部留保資金が20億円あれば楽だが，実質的には不良債務がまだ約10億円存在していることになり，皆さんの努力でここまで体力回復してきたが，病院事業としては依然として破綻状態にあると言える。このことを負担に思わなくても良いが，頭のどこかには入れておいて欲しい。

### (2) 医療安全について

#### 【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

3病院合計のインシデント・アクシデント集計について，従事者別と行為別に報告する。

#### 【質疑等】

**管理者：**平成21年度の中央病院の栄養士・調理師からのインシデント報告件数が急増しているが，これは平成21年度から給食調理業務を外部委託し，当初，誤配膳等，業務に不慣れな面があったためであろう。外部委託に対しての逆風吹いていたなかで，栄養士と調理師が一体となって頑張ってくれた結果，平成22年度は報告件数は減少しているものと思う。さらに一層努力して，直営時代の数値に近づけて欲しい。

### 【説明】中央病院

中央病院における医療安全の取り組みとして、平成21年度の活動報告や、インシデント・アクシデントの状況を示す。また、暴言・暴力対策についても説明する。

### 【質疑等】

**管理者：**暴言・暴力等の迷惑行動から職員を守るための「ホワイトコール」は良いと思う。恐らく、そのようなことをやっている病院は少ないだろう。非常に大事だから、しっかり継続してやって欲しい。暴言・暴力等の迷惑行動については、医療安全委員会で集計・分析し、その情報を外へ出していく。そして、「こんなモンスターペイシェントがいる」ということを県民にアピールし、一緒になって考えてもらうことが大事だ。そうすれば、理不尽な患者が減る可能性がある。三好、海部病院でも統計をとって、分析して欲しい。

**三好病院：**警察が来ている分については統計をとっている。

**中央病院：**抑制率はどれくらいか。病院機能評価の時に出せと言われる。

**三好病院：**抑制率までは出せていない。

### 【説明】三好病院

三好病院における医療安全の推進体制や平成21年度の活動報告及びインシデント・アクシデントの状況を示すとともに、平成21年度に行った新たな取り組みや平成22年度の目標、取り組みについて説明する。

### 【質疑等】

**管理者：**ME機器研修会は良い取り組みだ。中央病院、海部病院もやっているのか。

**中央病院：**やっています。

**海部病院：**やっています。

**三好病院：**メンバーが固定されているという課題がある。

**管理者：**転倒・転落の割合が高いが、どのくらいか。

**三好病院：**30%程度。高齢者、認知症が多いためと考えている。

**管理者：**中央病院、海部病院についても転倒・転落が多い。海部病院は高齢者が多い点では同じだが。

### 【説明】海部病院

海部病院における医療安全活動、インシデント・アクシデントの状況、医療事故に対する対応及び医療事故想定訓練について報告する。また、今後の取り組みを示す。

### 【質疑等】

**中央病院：**やはり転倒が多い。理由としては、高齢者が多いからとなるが、そこから分析できていない。解析を積み重ねてやっていくことが大事だ。エビデ

ンスを集めてほしい。今、院内感染が問題となっているが、各病院とも感染防止対策委員会等が単独でやっていて、別々になってしまっている。

**管理者：**感染対策チームや安全管理チームあるいは栄養支援チームなど、病院にはいろいろなチーム医療のためのプロジェクトチームが結成され、それぞれ単独のチーム内では情報を共有しながら精力的に活動している。しかし、各プロジェクトチーム間での共有や連携ができていない。是非、全プロジェクトチームが月に1回、1時間程度集まって、お互いに情報共有に努め、また、ほかのチームにどのような協力ができるのかなどを検討する会議を設置して欲しい。

**管理者：**転倒・転落については、全国共通だと思うので、インターネットや学会誌等でどのような対策を講じているのか調べて、委員会で発表してはどうか。中央病院の病棟廊下は、昔と比べものにならないくらい整然としており、それが理由ではなさそうだ。化学療法室については2週間に1回はカーテンレールを掃除して欲しい。もともと免疫力が落ちている患者に対して、頭の上のカーテンレールからほこりが落ちてくるようではダメだ。ICT、安全管理のラウンドでもチェックしてもらい、ほこりに対してどうするか考えて欲しい。

### (3) その他

#### ・平成23年度当初予算編成方針について

##### 【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成23年度の予算編成方針を示す。

##### 【質疑等】

**中央病院：**昨年もお願ひしたが、委託の問題で、競争によって安かろう悪かろうになる。品質が保ちにくくなっているので、配慮してほしい。現場の事務が少なくなっている中で、改築の関係で書類も増え、アウトソーシングがいるのではないか。委託料を減らそうというのは分かるが、質が悪くなる。

**管理者：**委託に関しては、「品質管理」が一番重要なのは理解している。

**管理者：**中央病院と三好病院の改築等で200億円を超えるお金が必要になるなかで、医療機器の購入に関しては、ヒアリングを行うことになるが、我慢してもらうことになるかもしれない。本局と病院、医療従事者と事務の間に架け橋を架け、協議していきたい。共通の価値観である「基本理念の実現」という「富士山の頂上」を目指して、登り方はいろいろあるが、お互いを理解しながら予算編成に取り組んで欲しい。

#### ・平成22年度医療器械導入審査会に向けて

##### 【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

来月の経営戦略会議において、平成22年度医療器械導入審査会を行う旨を説明をする。

・「徳島県新型インフルエンザ対応マニュアル改訂版」について

**【説明】** 病院局経営企画課 経営戦略担当

「徳島県新型インフルエンザ対応マニュアル」の改訂に伴い、各県立病院の「新型インフルエンザ対応マニュアル」の見直しについて検討するよう依頼する。

・次月分（10月分）の病院局戦略会議の議題について

（「医療の確保と健全化をすすめる会」の開催について）

**【説明】** 病院局総務課 政策調整担当

「医療の確保と健全化をすすめる会」について説明する。

**【質疑等】**

**管理者：**年に1回か2回，知事をはじめとした知事部局幹部に病院局の取り組みや抱えている課題を知ってもらい，理解してもらう良い機会である。

**病院局長：**議会関係では，9月21日から9月定例議会が始まる。知事所信表明について，三好病院の改築と海部病院のお産再開について案を出している。

**管理者：**3病院とも窓口対応に対するクレームが多い。窓口業務は委託しているわけだが，玄関受付での患者さんとのファースト・コンタクトになり，その応対次第で病院に対する評価が決められると言っても過言ではない。大衆迎合主義になる必要はないが，思いやりのある応対をしてもらうように導いていくことが必要である。是非，委託職員に任せきりにするのではなく，しっかりと「品質管理」をおこなって欲しい。海部病院では月に1回，医事課職員と委託職員で話し合っている。

病棟対応で『ため口』を使う看護師がいるようだ。ベテランに多い。『ため口』を親しみやすいと捉えるかどうかは，人それぞれである。しっかりと患者さんや家族のことを理解した上で，お話しするように努めてください。病院幹部は，このことを1か月言い続けてほしい。

院内感染については，「患者と職員を感染から守る」という感染管理の原点をしっかりと認識しながらやってほしい。